

会場：アーツカウンシル東京5階会議室 参加費無料

2024.12.26<sup>④</sup> 19:00～21:00  
芸術創造環境のアレコレについて、新たなアイディアを探るラウンジ



# これからの創造環境を「創る」ための 芸術分野を超えたラウンドテーブル 新たな発想を喚起する活動の事例紹介と 参加者も交えての担い手との対話

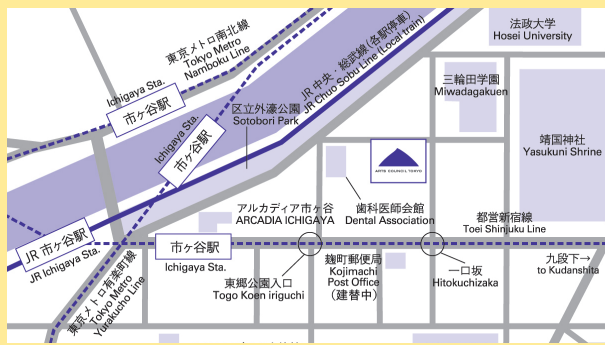
アーツカウンシル東京では、平成25年(2013)年度より、「芸術創造環境の向上に資する事業」に対する支援を行っています。芸術創造環境の現状と課題を捉え、課題解決に実践的に取り組む、分野全体を広く見渡した活動を対象としています。

この度、「芸術創造環境の向上に資する事業」として助成対象となった団体にご登壇いただき、その取り組みの成果や課題、アイデア等を共有する報告会の第1回を実施します。

第1部では、若手舞踊家の創作プロセスをサポートする事業(株式会社クラネオ)、劇場の特性を活かし新たな身体表現の創造や発想の更新を狙う事業(一般財団法人六行会)、批評のプラットフォームを設け次世代のライターや批評家に場を提供する事業(『紙背』編集部)の3つの取り組みをご紹介します。

第2部は、ファシリテーターに森山直人氏を迎え、登壇者とのトークセッションを行い、参加者も交えて意見交換を行います。最後には交流の時間も予定しています。本会が、さまざまな芸術分野を超えて、芸術創造環境の向上に資する事業の新たな発想につながる機会となることを目指します。

日時 2024年12月26日(木) 19:00～21:00(開場18:45)  
会場 アーツカウンシル東京 5階会議室  
(東京都千代田区九段北4丁目1-28 九段ファーストプレイス5階)



参加料金 無料 定員 40名

**申込方法** 下記フォームまたはQRコードより必要情報を記入のうえ、お申し込みください。  
<https://formok.com/f/22xyd8fi>

**申込締切** 2024年12月26日(木) 12:00  
※定員になり次第、締め切らせていただきます。

※手話通訳・UDトークによる情報保障があります。手話通訳: 加藤裕子、瀬戸口裕子  
※本報告会は主催者の広報及び記録目的に写真・動画・音声の収録を行い、後日アーツカウンシル東京のウェブサイト等でレポート記事として公開します。予めご了承ください。  
※プログラムの内容が変更になる場合があります。予めご了承ください。

**お問合せ** 「芸術創造環境の向上に資する事業活動報告会」  
運営担当(一般社団法人オノコロ)  
E-mail: [info@onocoro.org](mailto:info@onocoro.org)

## 登壇団体・登壇者・ファシリテーター

### 株式会社クラネオ

平原慎太郎(ディレクター)

町田妙子(制作)



平原慎太郎

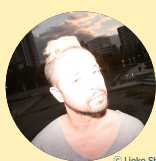


町田妙子

### 一般財団法人 六行会

塚原悠也(代表ディレクター)

花光潤子(プロデューサー)



塚原悠也



花光潤子

### 『紙背』編集部

山崎健太(『紙背』編集長)

大川智史(『紙背』編集部 バック  
オフィス、オンライン担当)



山崎健太



大川智史

### ファシリテーター:

森山直人(演劇批評家、多摩美術大学 美術学部教授)



森山直人



清水淳子

グラフィックファシリテーター:  
清水淳子

## 本活動報告会で紹介する東京芸術文化創造発信助成の対象事業

### 株式会社クラネオ

「Terra Co. ダンスリサーチプログラム」

【単年助成】令和4(2022)年度

振付家・ダンサーが自発的に質の高い創作活動を行う意識づくりを目的とした事業。参加者を公募で選出し、講師の児玉北斗、越智雄磨、高橋彩子、平原慎太郎による座学、ディスカッション、メンタリング等を実施。並行して、参加者が設定した課題研究へのフィードバックを行う研究会を通年で12回開催した。中間発表を経て、最終研究発表のレポート、パフォーマンス、映像などさまざまな形式で実施した。



### 一般財団法人 六行会

「Nextream21 かつてなく自由にダンスを  
名乗るための煙が立つ会」

【長期助成】令和5(2023)年度から令和7(2025)年度までの  
3年間

contact Gonzoの塚原悠也、写真家の志賀理江子、美術家のやんツーの3名からなるディレクションチームと共に、3年間にわたるクリエーションプログラムに取り組む企画。「六行会ホールでどのような『ダンス』がつかれますか?」というドリームプランの創出を公募課題としてアーティストを募り、参加者は1年目6組、2年目3組に選抜、3年目は1組に絞りクリエーションと公演を実施する。



### 『紙背』編集部

「舞台芸術をめぐる言説を発信する  
プラットフォーム形成プロジェクト『紙背』第二期」

【単年助成】令和5(2023)年度、令和6(2024)年度

『紙背』は批評家、ドラマツルグの山崎健太が編集長を務める演劇批評誌で2017年に創刊。2023年からの今回の活動では、舞台作品の上演後にアーティストのインタビューと公演のレビューを掲載するプラットフォームをウェブ上に立ち上げ、若手批評家や他分野の書き手に場を提供している。トークイベントやラウンドテーブルを交え、多様な視点で演劇、ダンス、パフォーマンスなど舞台芸術をめぐる言説の活性化を図る。

紙背